

●国道134号線擁壁改修事業 平成30年度完成目標

現在行われている国道134号線擁壁改修事業ですが、平成30年度に全区間を完成目標となっています。特に深刻な渋滞が発生している鎌倉高校駅前の交差点付近には逗子方面からの右折車線が設置(平成28年度完了予定)されることとなり、渋滞緩和が期待できます。

また、歩道幅員が2メートル未満でしたが今回の改修工事で3.5メートル以上に拡幅されます。それ違い時など狭くて危なく感じておりましたが、より安全な歩行ができるようになります。

●「鎌倉で津波から生きのびる」津波シミュレーション動画

鎌倉市津波シミュレーション動画が公開されました。沿岸においては地震発生から8分で津波の到達が想定されています。強い揺れを感じてから8分で確実に避難するために、避難経路、避難場所を改めてご確認ください。動画では地震発生後の由比ガ浜、鎌倉駅前、七里ガ浜、腰越の4箇所に津波映像を重ねて再現されています。説明を含めて約15分の動画です。

貸出用DVDもあります。

[鎌倉で津波から生きのびる](#)

検索



クリーンアップかまくら 海の部

5月5日に行われた海の部に腰越海岸では総勢340人ほどの参加がありました。ごみ袋の分、砂浜がきれいになりました。嬉しいですが、それだけごみが落ちていたことになります。特にくぎが散乱していました。海の家の解体中に落ちて放置されたのかもしれません。砂の中に埋もれていることもあるので、海の家の解体後に砂浜の確認の強化が必要です。また、ガラスも大量に落ちており裸足で歩く人もいますので、きちんと改善しきれいで安全な砂浜にしていかなければなりません。

クリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分



☆スケジュール☆

第38回:5月21日

第39回:6月18日

第40回:7月16日

第41回:8月20日

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。終了後、意見交換会も行っております。お時間の許す限り、お気軽にご参加ください。



ひなた新聞 21号



鎌倉市議会議員

ひなた慎吾



活動レポート



1983年6月9日 生まれ (32歳)



モンタナ幼稚園→腰越小学校

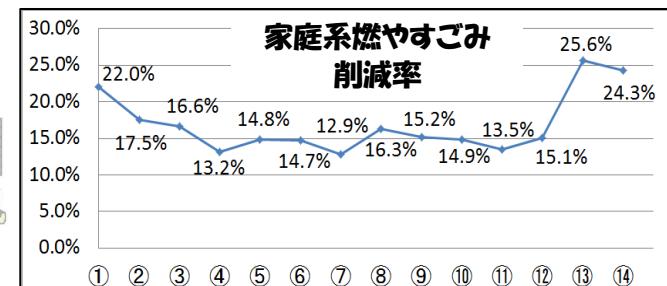
→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

観光厚生常任委員会委員・議会広報委員会委員長。腰越在住。

●家庭系燃やすごみ 有料化で約16.5%削減

2015年度の家庭系燃やすごみの収集量が昨年度と比較して約16.5%削減しました。市は有料化で8%の削減を見込んでいましたが、市民の皆様のご協力のおかげで大幅な削減となりました。一方、事業系燃やすごみは約1.1%増えた結果となり事業系に対する減量施策が必要です。また、ルールの守られていないごみの排出やカラス被害などの課題もあり解決に向けて取り組んでまいります。



4月第1週～3月第5週までを4週間ごとに①～⑬とし、⑭のみ3月5週目

住所：鎌倉市腰越3-23-7 連絡先：0467-32-5889

ホームページ：<http://www.hinata-kamakura.com/>

ブログ：<http://ameblo.jp/hinata-shingo/> フェイスブック：日向慎吾

メール：hinata.shingo@gmail.com ツイッター：@HinataShingo



討議資料

●代表質問



会派ごとに新年度予算議案にかかる質問を行い、我々「鎌倉夢プロジェクトの会」は小野田議員が代表して行いました。(昨年は私が行い、一昨年は永田議員)意見・要望等を抜粋してご報告いたします。

《 戸別収集 理解を深めるための説明会開催とコスト削減を 》

市は平成30年10月までに戸別収集全市実施を目指す方針を示しておりました。しかしながら、昨年12月定例会において「市民理解が得られていないことや経費が約4億円の増額になる等」の理由により、今年3月から「モデル地区の戸別収集をクリーンステーション収集に戻す」修正案が本会議で賛成多数により可決されたのを受け、平成28年度の予算では戸別収集のための運搬業務に係る経費が計上されませんでした。

市は戸別収集について見直しを行うことですが、我々「鎌倉夢プロジェクトの会」は戸別収集に関する理解を深めるためにも市から市民へ説明、市民から市への質疑というのだけでなく、実際に戸別収集を経験しているモデル地区の方々との対話する機会が必要であると考え、戸別収集を経験した方々の話を聞ける説明会をより多く開催することとコスト削減の可能性を模索することを求めました。ごみ出しの負担軽減・排出者の責任・クリーンステーション周辺のトラブル解消・ごみ減量意識につながる施策ですので、着実に進めていただきたいです。

《 事業系ごみを減らす施策が必要 》



裏面でも記載しましたが、事業系燃やすごみは昨年と比較して1.1%増えた結果となりました。事業系ごみを減らすために、地域のクリーンステーションには出せない事業系ごみと家庭系ごみの区別の徹底することも方法の一つだと考えます。そこで、小規模事業者の排出の適正化に向けて事業系の有料指定ごみ袋を作成し排出していただくべきではないかと提案いたしました。大和市では家庭系ごみ1.6円/リットル、事業系ごみ6.4円/リットルとして指定収集袋を作成し、家庭系と事業系ごみの区別の徹底を図っています。事業系ごみが家庭系ごみとして排出されることを防ぐためにも有効な手立てだと考えられます。



《 支援充実!! 子育てしやすい環境づくりへ 》

総務省『労働力調査(詳細集計)』(平成24年)によると、非労働力人口の女性のうち303万人が就労を希望しており、そのうちの半分以上に当たる161万人が25~44歳の年齢階級に属しているとのことです。鎌倉市も例外ではなく、子育て中の方への就労ニーズ調査によると、現在就労していない方の「15.4%がすぐにでも1年以内に働きたい」、「50.9%が一番下の子どもがある程度の年齢になったら働きたい」となっており、65%以上の方に就労意欲があることがわかります。就労希望者への後押しや短時間労働が可能な環境を作ることで空白時間を減らすなど、途切れないと支援が必要です。出産や子育て、介護等により離職された女性の仕事復帰への支援とともに、両立できる環境づくりを推進していくよう求めました。



《 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて 》

外国人観光客の対策として、案内板やパンフレットだけでなく、ニーズの高いWi-Fi接続設備の増設を行い、観光情報の多言語化や観光スポットにQRコードを設置し、その場所の解説が読めるなどの環境整備の促進を求めました。また、観光客の分散化のためにも観光ルートの選択肢を増やすことや、混雑緩和及び利便性の向上に向けて湘南モノレールで、ICカード乗車券(スイカやパスモ等)が使えるよう働きかけを求めました。さらに、海水浴場の営業などの課題や漁業補償については2020年だけでなく、開催前後も関係していくので真摯に向き合って解決策を導き出していくかなければならないと考えます。



《 「稼げる自治体に」 事業拡大時の支援も積極的に 》

雇用促進と税収確保のためにも企業誘致も重要ですが、既存の市内事業者が他都市へ転出させないことも必要です。そのためにも事業拡大時の支援等も積極的に行っていただくように求めました。

その他に、地域のコミュニティーを充実させ地域会議の設立を目指す事業や消防署腰越出張所の建て替えを進めるなどの防災・安全に関する事業、観光案内所の移設に対する事業について、予算化されたことは特に評価いたしました。

代表質問の全内容↓↓

http://www.hinata-kamakura.com/sinbun/201602_kamamukai.pdf

